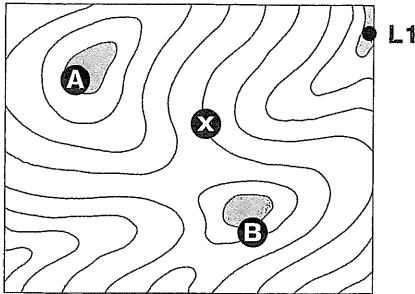


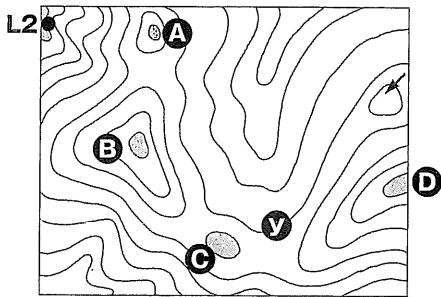
練習問題 1

等高線の形も単純で、ピークがわかりやすい。ピークはふたつあるが、等高線XからAのピークは4本、Bのピークは2本上にあるので、Aのピークが最高点だとわかる。最低点は、等高線xから4本離れたL1である。



練習問題 2

まずピークが3つある。これは共通の等高線Vから等高線の数が最も離れているBが最も高いとすぐわかる。ひねってあるのは、そこが共通の等高線から最も離れている点ではないという点である。共通の等高線Vから、Bのピークは3本離れているが、尾根上の点Dは4本離れているので、こちらのほうが高い → Dが尾根上のポイントと証明できない
ちなみに矢印で示した部分は小さな凹地を表している。



同様に、いちばん低い場所も、大きな沢の中とは限らない。この地図では尾根を取り巻く斜面が左側では急で、右側ではなだらかなので、左側の谷がより落ち込んでおり、こちらに最低点(L2)がある。

どんな場合にも見かけにだまされることなく、地道に等高線を数えること、それがこの問題の教訓である。

練習問題 3

現実離れた地形だが、火山の噴火口などでは似たようなものがあるかもしれない。中央の等高線にはひげがついているので、ここは凹地を表している。したがって、色のついた部分全体が、最高点の正解となりえる。最低点は、そこから等高線で最も離れた点L3である。

